

大阪国際サイエンスクラブ – 見学会 –

「花山天文台見学会」のご案内

～歴史と伝統の都に根付くアマチュア天文学の聖地を訪ねる～

International
Science Club
of Osaka

花山天文台は京都大学理学研究科附属天文台の1つで 1929 年に設立された歴史と伝統ある天文台です。研究活動は勿論のこと「アマチュア天文学の聖地」と呼ばれ、天文学の教育普及活動の拠点としても重要な役割を果たしています。

国内で屈折望遠鏡としては3番目の口径を持つ45cm 屈折望遠鏡、その天体追尾の機構には重力時計が現在でも使われている貴重なものです。また、ハレー彗星接近の際にドイツから輸入された口径 18cm の屈折望遠鏡は、日本最古の現役望遠鏡。今も太陽フレアの観測などで活躍しています。レンズ和尚として知られたアマチュア天文家の木辺成麿氏が丹精込めて磨いたとされる 70 cm の鏡を用いた太陽分光望遠鏡の焦点距離はなんと 20m、いったい中はどうなっているのでしょうか？

また本館をはじめとする建物は歴史的建築物としても価値が高く、「京都を彩る建物や庭園」に認定されており、建築好きの見学者も訪れています。

今回の見学会は今年の ISCO 総会の特別講演でご登壇頂いた柴田一成先生に解説頂きながら、現在も尚活躍し続ける歴史あるサイエンスに触れることができる絶好の機会です。皆様の多数のご参加をお待ちしています。

記

◇日 時：2026 年 2 月 28 日（土）13:30～16:30（京都駅に集合される方は 12:50 集合）

懇親会 17:00～19:00

◇場 所：花山天文台

◇参加定員：20 名（先着順）

◇参 加 費：2,000 円（天文台見学科）

◇参加申込：裏面の申込書欄の必要事項について、e-mail にてお申し込み下さい。

◇申込締切：2026 年 2 月 20 日（金）

◇問い合わせ先：大阪国際サイエンスクラブ 事務局 まで

TEL:06-6441-0458 e-mail: science@isco.gr.jp

当日の事務局連絡先（携帯）：090-5972-9140（サイエンスクラブ事務局携帯）

花山天文台アクセス

住所 京都市山科区北花山大峰町 1 7 地図別紙参照

※現地までの公共交通機関はありません

京都駅よりタクシー約 17 分 約 3,000 円 蹴上駅よりタクシー約 6 分 約 1,200 円

タクシー分乗ご希望の方は 12:50 京都駅中央口タクシーのりば（別紙参照）にお越しください

（ISCO にて一括払い、別途往復代 1,500 円徴収致します）

現地に直行される場合は自己負担をお願いします マイカー用の駐車場あります

懇親会

和食・懐石がんこ 京都駅ビル店

会費制 6,000 円（飲み放題付き）

当日講義・ご案内頂く花山宇宙文化財団理事長の柴田先生もご同席の予定です

e-mail:science@isco.gr.jp

申込受付 2 月 20 日(金)迄

<2 月 28(土)開催>「花山天文台見学会」 参加申込書

(申込者多数の場合は、同伴者様の参加を制限させて頂く場合があります)

お申込者様ご氏名／所属・役職：		
TEL：() —		
e-mail：		
同伴者様氏名	所 属 ・ 役 職	当日の連絡先 (携帯番号)
《 通信欄 》 ※京都駅集合・現地集合のいずれかをお知らせください		

※ご連絡頂いた個人情報は、本事業に関する申込みの受付、ご連絡、見学先への申し込み及び当クラブに関連する講演会・見学会等のご案内以外には使用致しません。

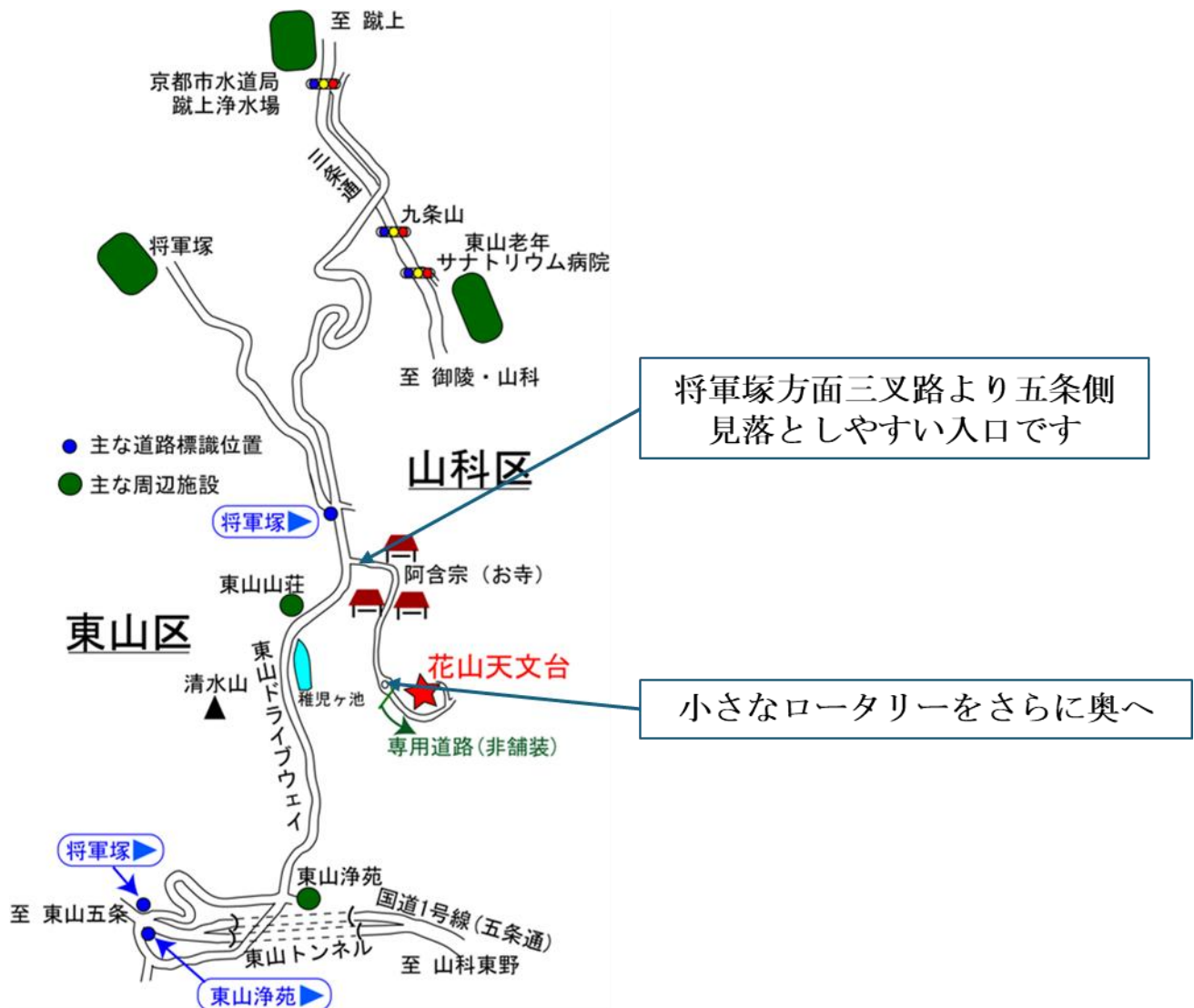
<集合場所> 京都駅よりタクシー分乗の場合 12:50集合

京都駅中央口は京都タワーが正面に見える側(北側)の出口です



花山天文台アクセス

東山ドライブウェイの阿含宗（あごんしゅう）の入口から奥へ



花山天文台の「ここがすごい！」

歴史あるお宝の数々



18 cm 屈折望遠鏡
日本最古の現役望遠鏡
116歳！

45 cm 屈折望遠鏡
直径9mのドームに設置
貴重な重力時計による
天体追尾機構が今も現役！



太陽分光望遠鏡
・和尚が磨いた鏡
日本最大の70cm
シーロスタット
(太陽追尾機構)
・焦点距離20m！
中はどうなってる？



昭和初期の貴重な建築



本館と歴史館は大倉三郎氏
(京都工芸繊維大学元学長) 設計

祇園の一力亭や長楽館などとともに
「京都を彩る建物や庭園」に認定
建築目当ての見学者の方もおられます

アートとの融合

クイーンのギタリストで
宇宙物理学者の
ブライアン・メイさん来訪



直筆サイン



音楽家・喜多郎さんの楽曲に
合わせた太陽の爆発現象の映像

